

2021 年度 早稲田商学学生懸賞論文 入賞者

早稲田商学同攻会
2022 年 2 月 28 日

大学院生の部

- 最優秀論文賞 宮寄 健太（片山 東ゼミ）
「日本の地方議会における議員報酬と選挙・議会活動 ー報酬額とその自主的な増額が与える影響ー」
- 優秀論文賞 金子 果歩（片山 東ゼミ）
「女性の学歴と結婚行動の関連 ー離散時間生存モデルを用いてー」

学部学生の部 （同賞 受付番号順）

- 最優秀論文賞 池淵 望、大野 日菜子、呉 哲宇、嶋倉 駿、頼 静（横田 一彦ゼミ）
「海外直接投資の流入がベトナムの貧困率に与える影響 ー省レベルの産業構造を通じた実証分析ー」
- 最優秀論文賞 渡邊 将真、林 涼香、山本 美波、楊 姝（横田 一彦ゼミ）
「輸出先の多様化と産業の生産性 ー日本の製造業における実証分析ー」
- 優秀論文賞 川端 柊（広田 真一ゼミ）
「独立社外取締役が企業の投資行動に与える影響 ー各国の文化による国際比較ー」
- 優秀論文賞 細川 暉慶（谷口 真美ゼミ）
「トップ・マネジメント・チームにおけるタスク・フォールトラインと企業パフォーマンスの関係性 ーチーム内外のコンテキストがもたらす影響ー」
- 優秀論文賞 殿垣 圭史、赤嶺 凜、蜷木 百花、米田 圭（横田 一彦ゼミ）
「仮想水貿易と比較優位 ーヘクシャー=オリーン=ヴァネック・モデルを用いた実証分析ー」
- 優秀論文賞 荒木 陸、池ノ谷 南、田巻 真衣、山川 尋子（広田 真一ゼミ）
「日本企業における M&A が CSR に与える効果」
- 佳 作 木村 仁美（坂野 慎哉ゼミ）
「Realized GARCH モデルによる株価指数の推定 ー途上国の株価指数を中心にー」
- 佳 作 豊田 陸、宇治 紘孝、三村 万里、小笠原 瑠斗（山野井 順一ゼミ）
「企業の非合理的な案件獲得行動に競合が与える効果 ー入札競争におけるエスカレーション・コミットメントの実証研究ー」
- 佳 作 槇本 萌、齋藤 怜那、和田 友寿（井上 達彦ゼミ）
「企業成果を高めるビジネスモデルの追加パターン ーパネルデータを用いた実証研究ー」
- 佳 作 井上 裕貴、足立 由依、井出 圭済（井上 達彦ゼミ）
「図は文ほどにものを言う ー投資家を惚れさせるビジネスモデルの表現方法とはー」
- 佳 作 相川 大祐、伊澤 大輝、オム ソヒョン、勝俣 龍太郎、丹波 百音（広田 真一ゼミ）
「社外取締役が企業の環境・社会パフォーマンス及び財務パフォーマンスに与える影響 ーサステナビリティ経営を求める声が高まる前後での比較ー」

以上